

船舶事故等調査報告書

平成25年2月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第133号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成24年8月7日（火） 16時00分ごろ
発生場所	千葉県いすみ市太東埼東北東方沖 太東埼灯台から真方位073° 1.0海里付近 （概位 北緯35° 19.0′ 東経140° 26.0′）
事故等調査の経過	平成24年8月9日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ B-II、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	232-28962千葉、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成24年8月7日12時00分ごろいすみ市所在のマリーナを出発して13時00分ごろいすみ市太東海岸に到着した。</p> <p>本船は、遊走を行おうとしたところ、主機の増速状況が悪くなったので、船長が、主機の発停を繰り返し、その後、バッテリーを取り替えたところ正常な状態に復帰したため、15時00分ごろマリーナへ戻ることにした。</p> <p>本船は、太東埼東北東方沖を南進中、16時00分ごろ主機が停止し、船長が、再度、主機を点検して始動を試みたが始動しなかった。</p> <p>船長は、海上保安庁へ救助を要請し、来援した巡視艇にえい航されていすみ市大原漁港に入港した。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	<p>本船の主機は、2ストローク2シリンダのガソリン機関であり、燃料を霧状にして空気と混合させる装置とし、キャブレターが2個取り付けられていた。</p> <p>船長は、本インシデントの2日前に本船を中古で購入し、購入から本インシデント発生までの運転時間は約7時間であった。</p> <p>本船は、本インシデント後、点検したところ、キャブレター2個のうちの1個が、主機本体から外れかかっていた。</p>
分析	
乗組員等の関与	なし

<p>船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし</p> <p>本船は、太東埼東北東方沖を南進中、主機のキャブレター2個のうちの1個が外れかかったことから、1シリンダが不作動となって主機が停止し、運航不能になったものと考えられるが、キャブレターが外れかかった要因に関しては、船長が本船を購入して間がなく、購入以前の整備状況が不明であることから、明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が太東埼東北東方沖を南進中、主機のキャブレター2個のうちの1個が外れかかったため、1シリンダが不作動となって主機が停止したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中古で水上オートバイを購入し、購入以前の整備状況が不明な場合は、主機等の点検整備を入念に行うこと。